

この絵、何の絵、どんな感じ？絵から言葉が生まれるよ！—B鑑賞（1）—

～不思議に見える絵の理由を考えながら、絵の面白さを味わう～

指導者 広島市立東野小学校 河村 知幸 (T1) 崎本 美津子 (T2)

- 1 日時 場所 平成23年 月 日 ()
- 2 学年 学級 第5学年4組 (男子12名 女子14名 計26名)
- 3 題材について

○ 児童観

本学年の児童は、昨年度末の実態調査によると、以下のような傾向が見られた。

《質問》 図画工作科が 好きですか？	好きと答えた児童	ふつうと答えた児童	嫌いと感じた児童
	約70%	約20%	約10%
《質問》 図画工作科が 得意ですか？	得意と答えた児童	ふつうと答えた児童	嫌いと感じた児童
	約40%	約25%	約35%

- 本学級は、造形活動に意欲を持って取り組むことができる児童が多い。また、教師の指示をよく聞き、それに従って順序よく表現したり、材料や用具を正しく扱ったりするなど、学習の見通しが持て、材料や用具の使い方も分かれば、安心して表現できる児童が多い。しかし、自分の表したいことを自分なりのイメージを広げて考えたり、表したいことに合わせて表現方法を工夫したりする児童が少なく、自分なりの表現に自信が持てず、作品制作に消極的になってしまう児童もいる。また、身近な美術作品や友人の作品を鑑賞してよさを感じ取り、認めることができる児童は多いが、作者の表現の意図や作品にこめられた思いをとらえるまでには至っていない。鑑賞時の「〇〇が上手にかけている」「本物みたいですごい」「すみずみまでいい」「全体に色がぬらされていていい」といった児童の声から、写実的に表現した作品が“よい作品”であるという見方・感じ方をしている児童が多い。

○ 題材観

本題材は、美術作品の中にかかっているものをじっくり見て感じたことや思ったことを話し合う学習である。作品鑑賞を行うとき、全体から受ける印象で作品を見てしまいがちである。そこで、今回は、児童の想像をふくらませることのできる作品を選び、絵をよく見るための視点を養い、見ることの楽しさを味わう鑑賞活動を行いたいと考え、この題材を設定した。「不思議な絵」には、隠された秘密がある。その秘密は視点を変えることによって変身し、秘密がとける作品である。児童は、作品に興味をもち、意欲をもって鑑賞するのではないかと思う。この題材を通して、美術作品から美しさや楽しさ、おもしろさを感じ取る心を育てたい。また、友達と作品を鑑賞することから、お互いの価値観を受け入れながら、人間関係も深めていけたらと願っている。

○ 指導観

指導にあたっては、美術作品を目だけでとらえようとするのではなく、その他の感覚（触覚・嗅覚・聴覚等）を働かせて対象を受け止めることができるようにさせたい。絵の不思議さに気づき、不思議なところや表現の工夫について考えたり、作者がどうしてこのような表現をしたのかを想像したりしてじっくり鑑賞させたい。一つの作品から様々な感じ方を引き出し、より豊かな表現力を培いたい。なぜ不思議に見えるのか、その理由について考え、ワークシートに書いて話し合わせたい。感じたことや思ったことを話し合うことを通して、自分の見方、感じ方を広げ、新たな気づきをもつことができると考える。

4 題材の目標

- (1) 不思議に見える絵の面白さをあじわおうとしている。(造形への関心・意欲・態度)
- (2) 不思議に見える作品について話し合い、表し方の特徴などをとらえている。(鑑賞の能力)

5 題材の評価規準及び学習活動における具体的評価規準

	ア関心・意欲・態度	エ鑑賞の能力
準 評 題 価 材 規 の	作品のよさやおもしろさにふれ、話したり友達の感じ方を聞いたりして、見る楽しさを味わおうとする。	作品の中から見つけたこと（色・形・表し方などの特徴）に基づき、自分なりの感想を話したり、友達の考えを聞いたりして、自分の感じ方や思いを広げる。
の お 学 評 習 価 活 規 動 準 具 体 に	1ー自分が感じたり、思ったりしたことを積極的に言葉で表現しようとしている。 2ー自分が感じたり思ったりしたことを友達と話し合っている。	1ー自分の感じたことや思ったことを自分なりの言葉でワークシートに記入する。 2ー友達と話し合う中で自分の感じ方と比べようとしている。

6 指導と評価の計画（全1時間）

時間	学習活動	学習活動における具体的評価規準等		
		評価規準 評価方法	十分満足できると 判断される状況	努力を要する状況 への手立て
第一次 （二時間） 本時1 ／ 1	・「不思議な絵」を鑑賞し 感想を交流する。	アー① 活動の様子を観察・ ワークシート エー①、② 活動の様子を観察・ ワークシート	・不思議な絵の表現の 工夫をワークシートに 書く。 ・形や色など表現の特 徴に着目し「○○だか ら～だと思えます」と 根拠をもって自分の思 いを発表したり、友達 の話に関心をもって聞 こうとしたりしてい る。	・全体を見たり部分も 見たり、色や形など着 目したりするように声 をかける。 ・ワークシートに書い たことを手がかりにし て伝えるように声をか ける。

7 本時の目標

- 不思議に見える表現があることに気がつき、そのおもしろさを味わう。（図画工作）
- 友達の感じたことや思ったことを話し合うことを通して、お互いの見方、感じ方を認め合う。（人間形成）

8 準備物

（指導者） ワークシート アートカード（児童用・掲示用）

9 本時の展開

学習活動	教師の支援	評価規準・評価方法
1 「不思議な絵（日ぼつの航海）」 を見せて、どのような所が不思議な のかを話し合う。	○「日ぼつの航海」を拡大提示し、 鑑賞活動への意欲をもたせる。 ○形や色など表現の特徴に着目し 「～だから～だと思えます」と根拠 をもって自分の思いを発表できるよ うに助言する。	○自分が感じたり、思ったりしたことを積 極的に言葉で表現しようとしている。アー ①（活動の様子を観察）
2 本時の学習内容をつかむ。 ○ 題材名やめあてを確認する。	○題材名やめあてを示す。	
不思議を味わってみよう！		
3 「不思議な絵」を鑑賞する。 ○ 不思議な理由や表現の工夫につ いて考えたり、作者がどう してこのような表現をしたの かを想像したりしたことをワ ークシートに書く。	○掲示用の「不思議な絵」を四枚掲 示する。 ○児童用のアートカード・ワークシ ートを配布する。	○自分の感じたことや思ったことを自分な りの言葉でワークシートに記入する。エー ①（ワークシート）
4 不思議に見える理由を話し合 う。 ・グループ（ペア） ・全体	○ワークシートをもとに話し合うよ うに助言をする。	○自分が感じたり思ったりしたことを友達 と話し合っている。アー② （活動の様子を観察） ○友達と話し合う中で自分の感じ方と比べ ようとしている。エー② （活動の様子を観察）
5 本時の学習を振り返る。		